

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA WAGO 名古屋和合 WEEKLY 2760 地区 REPORT

ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

ロータリーを实践しみんなに豊かな人生を

2013-2014年度 国際ロータリー会長 ロンD. パートン



2013-2014年度 会長 鷲塚貞長 幹事 服部 滋 クラブ会報委員長 佐藤公俊  
創立/1972年3月15日 例会日/水曜日 12:30~13:30  
例会場/ウェスティンナゴヤキャッスル 名古屋西区樋の口町3-19 〒451-8551  
TEL 052-523-1998 FAX 052-531-0727

2013 November 27

■ 2013~2014年度方針

“原点に戻り 品格あるアドバンス”  
Return to basics Advance with intelligence

NO.20

## 例会報告

- 第2016回例会 平成25年11月27日(水) 晴
- 11月はロータリー財団月間
- ロータリーソング 四つのテストのうち

- 出席報告 会員 104名中 (98) 名中 出席67名  
出席率68.37% 修正出席率86.67%  
(11月13日分)

- ビジター紹介 武田 正典IM実行委員長(名古屋錦RC) 外2名

- ゲスト紹介  
・ゲストスピーカー  
公益財団法人日本オリンピック委員会  
理事 大塚 眞一郎氏  
・米山奨学生 デバコダ・ジバナト君

- ニコボックス  
「本日はIMのお願いに参りました。会員登録を是非お願い致します。」

武田 正典 IM実行委員長 (名古屋錦RC)  
「本日の卓話をお願いしました、私の親友の公益財団法人日本オリンピック委員会理事の大塚眞一郎君です。よろしく。」 國分孝雄君、谷 喜久郎君  
「11月15日満90歳(卒寿)を無事迎えました。」

長谷川通雄君  
「欠席が続き申し訳なく思います。先日は「一歩」をお持ち帰り頂いた方々に深謝し厚くお礼申し上げます。」 宮下幸二郎君

「前回は大変失礼いたしました。都合がつかしましたので、倍返し致します(笑)。」 服部雅紀君

「本日シンガポールから帰国しました。シンガポールの観光庁と国交省との事業について交渉してきました。がんばります!!」 間地 寛君  
本日のニコボックス 6件 38,000円  
累 計 117件 844,000円

## 服部 滋幹事報告

▽当クラブ行事予定

- ・11月27日(水) 本日例会終了後、クラブアッセンブリーを開催致します。クラブアッセンブリー終了後、理事会を開催致します。
- ・12月4日(水) 年末会員家族懇親会。  
17時受付  
17時30分開会  
20時15分頃閉会予定  
場所はウェスティンナゴヤキャッスルです。  
ご案内をご自宅に郵送致しました。ウェスティンナゴヤキャッスルでのお昼の例会はございません。

- ・12月11日(水) 卓話終了後、年次総会を開催致します。

## 会長挨拶

### “上洛”

列車が京都駅に近づくと、右手には、蠟燭がモチーフと聞いているが、誠に悪趣味で、おおよそ古都にはそぐわないと、大変評判の悪い京都タワーが、方や左手には、これぞ京都の趣と賞される、東寺の五重塔が望めます。

藤原京、平城京、長岡京、そして平安京と遷都を繰り返した都は、すべて中国を模して造成された、羅城構造です。

羅城とは、都全体を城壁で取り囲んだ城都で、その正門が羅城門です。

芥川龍之介は、平安京建都から300年、暴風雨で半壊状態の羅城門での凄惨な出来事を記した、今昔物語の中の一話をベースに、「羅生門」を著しており、「鼻」も今昔物語によく似た話があります。

平安京が上述の3つの羅城都市と異なるのは、羅城門の左右に官制の東寺と西寺を配したことです。

平安京は今日の賀茂川の西に形成された都で、羅城門に始まるメインストリートの朱雀大路(現在の千本通り)の突き当り朱雀門の内は、大内裏(官宮)で、その中心的建造物が大極殿です。

千本通りは、東海道本線が京都駅を過ぎ、少し進んだところで、北上する山陰線に分岐しますが、この山陰線に概ね併進しています。

内裏の大極殿は、何度も失火で類焼で焼失したので、予備として都内に里内裏を数か所に設けており、その一つが現在の京都御所で、平安京の大極殿は現存せず、上京区の児童公園の中に、当時の位置を示す碑が建っています。

平安神宮は、平安遷都1100年を記念して、明治28年に開催された博覧会で、大極殿を模し建造した“パビリオン”を、壊すのはもったいないと、そのまま神社にしたもので、祭神は、平安京初代の桓武天皇と、最後の孝明天皇の両者が後付けです。

神社の祭神なるものは、平家滅亡の際、8歳の安徳天皇とともに海中に没したはずの草なぎの剣が、熱田神宮のご神体、上さんのへそくりで馬を買い、慌てて戦場にはせ参じ、たいした武功も無いのに大名になった山内一豊、「バカな大将、敵より怖い」と言われた乃木さんなども、その名を冠した神社があり、神様になっているので、あまり深く考えない方がいいものが殆どです。

信長や家康の時代には、入京することを上洛といいました。

平安京は、西側の右京を長安、東側の左京を洛陽と名付けましたが、長安と称した右京は、水はけが悪い湿地帯で、平安時代は、平均気温が高く、集中豪雨などが頻発し、オコリ(温帯性マalaria)、赤痢、疱瘡、咳病(結核など)悪性の風邪(インフルエンザ)、頸腫病などが蔓延する、不潔な土地であったため、遷都200年ほどで廃れ、都には左京の洛陽だけが残ります。故に入京を上洛といったのです。

名古屋(尾張)を尾陽、広島(安芸)を芸陽、東京(武蔵)を武陽などと、称したのも平安京の洛陽に由来します。

平安京より300年後、暴風雨で羅城門は半壊し、修復されないまま放置され、その後京都が焼野原になった応仁の乱(10年戦争)の時は、羅城門はありません。

信長が足利義昭を報じて上洛したのは、応仁の乱で京都が焼野原になった、100年後のことです。

## 卓 話

### 「オリンピック東京招致秘話」

公益財団法人 日本オリンピック委員会



理事 大塚 眞一郎

2020東京オリンピック・パラリンピック招致の度団場であるIOC総会が行われたブエノスアイレス・アルゼンチンでの流れの中で気がついた招致活動を考察したいと思います。

決定を勝ち取るまでの間のチームジャパンの活動は、日本のスポーツ界の歴史に残る団結と戦略性と緻密さと勇氣ある行動が結果を引き出したと言って間違いありません。

「全員で勝ち取ったこと」「一人ひとりが役割を把握していたこと」

「その歯車がかみ合ったこと」「全員が他の人の動きを認めたこと」

日本招致団は、車で5分から10分のシエラトンホテルが宿舎となりました。到着後、シエラトンでの関係者一同会議が行われ、招致団の面々が顔を合わせ始めましたが、ニューヨーク経由の飛行機が遅れ、森元総理・橋本聖子常務理事の到着が遅れていましたが、我々は事前に用意されたマニュアルに従い、ここでの活動をスタートさせました。

ヒルトンホテルに戻り、その状況を確認してみるとIOC委員の到着、既に到着しているIOC委員、ロビー活動を行う日本招致団、アンダーカバー、コンサルタント、イスタンブール、マドリードの面々と様々なメンバーが個々に話をしている余り違和感を感じない光景でした。

しかし、徐々にその姿は、変わり始めました。5日には、徐々にヒルトンホテルの朝食時や会議会場に変化が出始めてきました。どうもヒルトンホテルに日本人の姿が少ないと感じ始めていました。アンダーカバーとコンサルはいますが、招致ユニフォームを着た日本人が少ない状況でした。

ロビーは、イスタンブールの集団、フェリペ皇太子率いるマドリード軍団が入り乱れ、IOC委員や関係者、IFの関係者、メディア、電通、全く敵か味方かが不鮮明な中、さっそうと高円宮久子妃殿下が現れ、ロビーの様子は一変しました。クイーンズイングリッシュの美しさは、音楽のように聞こえ、雰囲気は、クラシックバレエのごとく漂い、IOC委員を魅了しました。妃殿下の活動は、多くは語れませんが、IOC委員との語り合いは、震災支援の御礼を中心に豊富な話題で日本・東京に注目を引きつけました。さらに「12時からが勝負よ」とパーティムには、自らラウンジ正面の席にお座りになり、ホテルロビーにいるIOC委員に笑顔を振りまいて頂きました。日本に風が流れだしました。

更に安部総理の登場だ。政治の仕事も似合うがスポーツ政治の場面に違和感なく溶け込み、ロビーに登場しました。今考えるとヒルトンホテルのロビーは、さながらIOC劇場の舞台の姿でした。

投票日の前日の夜は、IOC総会のオープニングセレモニーとなり、コロン劇場には、日本招致団宿舎のシエラトンホテルからバスで移動、赤じゅうたんの上を歩いて劇場入り、映画祭の様でした。席についてからの光景は、フェリペ皇太子夫妻、久子妃殿下、安部総理のショットが日本の存在感を示した場面として、素晴らしい光景をアピールできました。また、セレモニー終了後は、会場でのカクテルパーティとなり、超満員の中、妃殿下、総理、皇太子が会場を動き

回り、投票前日の最後の活動に及んだ。ここも今までにない素晴らしい光景を出すことが出来ました。

多くの人、国、人種、宗教を乗り越え、集い、語り合い、肩を組み、ハグヲして、握手をする光景は、まさにオリンピズムであり、オリンピックムーブメントであり、スポーツを通じた世界平和運動が実践された姿でした。

そしてこの数日間、ホストシティの長として猪瀬都知事は、積極かつ果敢にIOC委員の懐に入ろうとJOCメンバーとともに尽力していました。その賢明な姿も日本の招致に賭ける情熱を強くあらわすものと映ったはずです。負けた時の覚悟もあったはずです。

JOC竹田会長の事前活動も裏打ちされたことであり、IOC委員との友情を築き上げた行動でした。

7日の投票日、朝食会場は、更に緊張感があり、さらに翌日以降に控えた競技の投票、会長選のロビイングも並行して行われていることも忘れない。10時30分から東京のプレゼンが開始されました。素晴らしい内容でした。

そして17時1回目投票。ロビーで日本の女性が泣き出した。大画面にイスタンブールとマドリードの文字が出ている。説明が合った。トップは東京。

2位が同点。2位の決選投票だ。会場には、IOC委員のみ。マドリードが落選しました。

東京とイスタンブールの決戦。17時30分発表会場に呼び込まれ、IOC委員と対峙する席で名前が呼ばれた。「TOKYO」歓喜の瞬間だ。終わった。そして始まりだ。ありがとう。猪瀬都知事が泣いている。20時シエラトンホテルでの大祝賀パーティとなる。

最後に我々は世界の友人との約束を7年後に果たすこと。日本国民の期待にこたえること。

スポーツを通じた世界平和運動・持続可能な環境保全を実現すること。

メダル獲得・経済成長・都市再生以上にこのオリンピックの基本(スポーツ・文化・環境)を学んで開催の主眼にしてほしいと思います。オリンピック運動ありきの2020を期待しています。

### ●第5回理事会

(平成25年11月27日(水) クラブ協議会終了後 ウェスティンナゴヤキャッスル)

- ・2014~2015理事役員の件
- ・定款改定の件
- ・次年度地区委員推薦の件
- ・新入会員の件
- 長澤 功雄氏(伊藤勝康君、小林君紹介)
- 高田 朋太郎氏(黒田史郎君紹介)
- ・夏目 英司君退会の件
- ・その他

### ●12月度誕生日祝福

会 員	ご 夫 人
今井明雄 君(12月3日)	亀井敏勝 夫人(12月10日)
坪井和義 君(12月5日)	小栗正章 夫人(12月14日)
梶田浩太郎 君(12月13日)	稲川 久 夫人(12月18日)
石川雅迪 君(12月15日)	相羽繁生 夫人(12月20日)
山本文彦 君(12月22日)	服部 滋 夫人(12月27日)
山田秀樹 君(12月23日)	柏木博喜 夫人(12月30日)
福田哲三 君(12月29日)	
加藤重和 君(12月30日)	

例会	月日	今後の予定
第2017回	12.4	年末会員家族懇親会 17:00~受付 ウェスティンナゴヤキャッスル
第2018回	12.11	(株)ティア 社長 富安德久氏 「 <small>じんせい</small> 尽生と志事」
第2019回	12.18	熱田神宮 禰宜 千秋季頼氏 「式年遷宮について」
	12.28	規定休日

○このウィクリーは再生紙を使用しております。